



鳥羽市は「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」を目標としています。

とばし教育委員会 だより

2026. 9. 1 第32号



ノラネコぐんだんと楽しい夏まつり！

かもめ幼稚園では、「ノラネコぐんだんと楽しい夏まつり」をテーマに、保育室を巡るお楽しみ会を開催しました。各部屋に用意されたミッションを保護者と一緒に挑戦する子どもたち。室内からは子どもたちの元気な声が響き、ミッションをクリアしたときには弾けるような笑顔を見せ、子どもたちはワクワクと楽しさでいっぱいの時間を過ごしました。最後はみんなで一緒にダンスを披露し、親子で心に残る特別な一日となりました。

市民みんなで力を合わせ、鳥羽の教育を高めていきましょう。さまざまな分野の方にその熱い思いを語っていただきます。今回は、昨年4月1日に就任した岩本教育長の登場です。さあどうぞ！

チーム鳥羽 そこが聞きたい

第23回



岩本 和也さん

鳥羽市教育長。平成元年神島小学校教諭に採用され、これまでに教育委員会学校教育課長、筈志中学校校長、鳥羽小学校校長などを歴任し、昨年4月に教育長に就任。

鳥羽の未来を拓く、 新たな教育の航海へ

鳥羽の美しい海に囲まれ、豊かな自然と歴史に育まれてきた子どもたちは、私たちの宝であり、鳥羽の未来そのものです。

令和8年4月、鳥羽市の教育はさらなる進化を求め、新たな5カ年計画「第3次鳥羽市教育ビジョン」を始動しました。これは、激動する社会という大海原において、子どもたちが自分らしく、たくましく航海を続けるための「教育の新たな羅針盤」です。

鳥羽の教育が目指す基本目標は、「自ら学び 地域とつながり ともに鳥羽の未来を創る人」の育成です。「鳥羽でしかできない」「鳥羽ならではの」教育の実現に向け、次の3つに挑戦します。

○世界へ広がる「英語教育」…国際的な観光文化都市としての強みを活かします。

○海から学ぶ「海洋教育」…かけがえない宝である「海」を、生きた学びの場とします。



昨年度のイングリッシュデイの様子

○誇りを育む「ふるさと学習」…地域の歴史や文化に触れ、鳥羽への自信と愛着を育みます。

家庭、学校、そして地域の皆様は、子どもたちの無限の可能性を信じ、子どもたちとともに歩む「伴走者」です。鳥羽の豊かな自然と温かなコミュニティの中で、子どもたちが自らの可能性を信じ、未来へ向かって力強く漕ぎ出していけるよう、情熱と使命感を持って取り組んでまいります。

文化財紹介 鳥羽の近代建築

旧鳥羽小学校校舎は兵庫県神戸市を中心に活躍した建築家清水栄二が設計し、昭和4年に竣工しました。コンクリート造の建物としては県下最古級の建物です。平成22年には、国の登録有形文化財に登録されています。

神戸市には、清水のデザインした建物がいくつか現存しており、今も活用されています。その一つ、東灘区にある御影公会堂は、地域の集会や催しなどに利用されており、昭和8年の建築当初から併設されている洋食店は今も営業しています。中に入ると旧鳥羽小学校と同じような意匠の丸柱やアーチ状の柱をみることができ、御影公会堂も旧鳥羽小学校と同じく登録有形文化財となっています。

清水は、神戸を中心に活躍した人物ですが、なぜ旧鳥羽小学校を設計することになったのか不明です。しかし、当時鳥羽には鳥羽造船所があり、その親会社が神戸製鋼所であったことや、御木本真珠が神戸にも拠点をもっていたことが影響したのではないかとはいわれています。

このように旧鳥羽小学校校舎は、鳥羽の近代史の名残を残す貴重な近代建築といえるでしょう。



旧鳥羽小学校の柱



御影公会堂の外観



御影公会堂の柱



御影公会堂のレストラン

加茂小学校交通安全教室

鳥羽警察署と交通安全協会の協力のもと、加茂小学校で1年生と4年生を対象に交通安全教室を実施しました。

1年生は、映像の視聴や警察署の方によるお話を聞いた後、実際に学校前の道路で安全な歩き方や横断歩道の渡り方を実践しました。また、4年生は運動場に設けたコースを実際に走行しながら、駐車車両の横を通るときに注意点や交差点での安全確認など、自転車を利用する上で大切なポイントを学びました。

交通安全教室を通して、子どもたちは交通ルールの大切さやヘルメット着用の必要性について理解を深め、日常生活の中で交通安全への意識を高める機会となりました。



自転車用ヘルメット補助券のご案内

児童の自転車事故防止のため、ヘルメット購入費の一部を補助します。市内登録店舗で安全基準に適合したヘルメットをご購入する際は、補助券をご利用ください。(補助券は学校を通じて配布しています。)

対象…市内に住所を有する鳥羽市立小学校在籍児童の保護者

内容…児童1人につき1回3千円(各区分1回)

区分…小学校1～3年生、小学校4～6年生の期間

購入期限…令和9年3月31日まで



市立図書館をもっと利用しよう

☎0599-26-4555



イベントの紹介



鳥羽の日ブックトーク

毎月第1土曜日にひとつのテーマに沿って、さまざまな本を紹介する「ブックトーク」を開催しています。

10月には、「鳥羽の日ブックトーク」として、鳥羽に関係した本を紹介しています。

その他に、春・夏・冬休み「おはなし会」、「工作教室」、「手作り絵本講習会」など、本に関心を持ってもらうきっかけとなるイベントを数多く開催しています。

貸出サービスのご案内

インターネットでの 検索・予約

パソコンやスマホからいつでも本の検索や予約が可能です。



本が見つからないとき

お探しの本が見つからないときは、お気軽に職員へおたずねください。貸出中の本は予約ができます。さらに、当館に所蔵していない本については、購入または、他の図書館から取り寄せます。ご希望の際は、「リクエストサービス」をご利用ください。



研究室の利用

友だちと一緒にあるいは一人で本を読みたい、勉強したいときは、2階研究室を利用できます。

窓口にて、利用申込書をご記入ください。なお、研究室には机が6台あり、ご利用は先着順となります。



開館時間 10:00-18:00

休館日 毎月第2水曜日、年末年始(12月29日から1月3日)、特別整理期間(10日以内)
X(旧Twitter) @Toba_Lib



セブン・イレブン店舗販売体験

答志小学校

答志小学校では、セブン・イレブン・ジャパン、三重県、鳥羽市が連携し、答志島の食材を活用した商品開発に取り組みました。この事業は、三重県出店20周年と三重県政150周年を記念して実施されたもので、令和7年12月から全3回の出張授業が行われました。

出張授業では、「答志島の食材を使った弁当メニュー作り」をテーマとした授業を実施しました。児童は、地域の食材の魅力や商品づくりについて学び、試作品の試食や商品の決定、売り方作戦会議などを重ねながら、商品開発に取り組みました。

児童のアイデアをもとに開発された「しらすごはん弁当」「醤油まぶしおむすび」「しらすマヨネーズ」「青のりとちりめん佃煮おむすび」の3商品は、4月17日から5月3日まで東海3県のセブン・イレブンで販売されました。

4月17日には、5・6年生の児童がセブン・イレブン堅神店で店舗販売体験を実施しました。児童は「お客さんにあいさつするチーム」「試食を提供するチーム」「商品を陳列するチーム」に分かれ、約1時間にわたり接客や販売の仕事を体験し、多くの来店客に答志島の食材の魅力を伝えました。



鳥羽竜発見から30周年！

鳥羽駅からパールロードを東に行くと、安楽島町の道ぞいに「化石発見地」という標識があります。すぐ近くに鳥羽竜の説明板と化石のレプリカがあり、そこから階段を下行すると、化石が見つかった海岸に出ます。

1996(平成8)年7月、ここで発見された化石は、全長16〜18m、体重31〜32tもある草食恐竜のもので、ティタノサウルスの仲間と推測されています。見つかった場所にちなんで「鳥羽竜」というニックネームがつけられました。今年は鳥羽竜の発見から30年を迎えることから、記念事業が行われます。

令和8年10月24日(土)には、恐竜研究の第一人者である小林快次教授(北海道大学総合博物館、副館長)の講演会が鳥羽で予定されています。恐竜ファンのみならず貴重な機会ですので、ぜひ参加されてはいかがでしょうか。

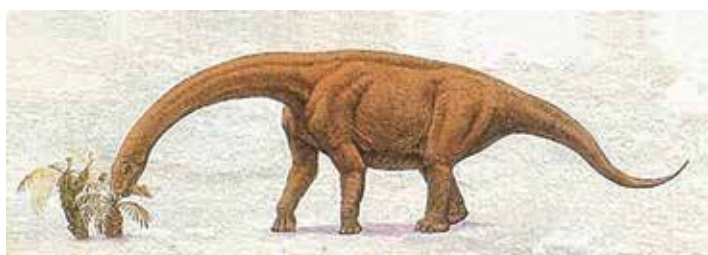
講演会

日時 令和8年10月24日(土)13時開始

場所 鳥羽商工会議所3F かもめホール

入場無料 申し込み不要

詳細は、鳥羽恐竜研究振興会(090-4790-0559)にお問い合わせください。



鳥羽竜復元図



鳥羽竜の化石

ご意見ご要望をお寄せ下さい